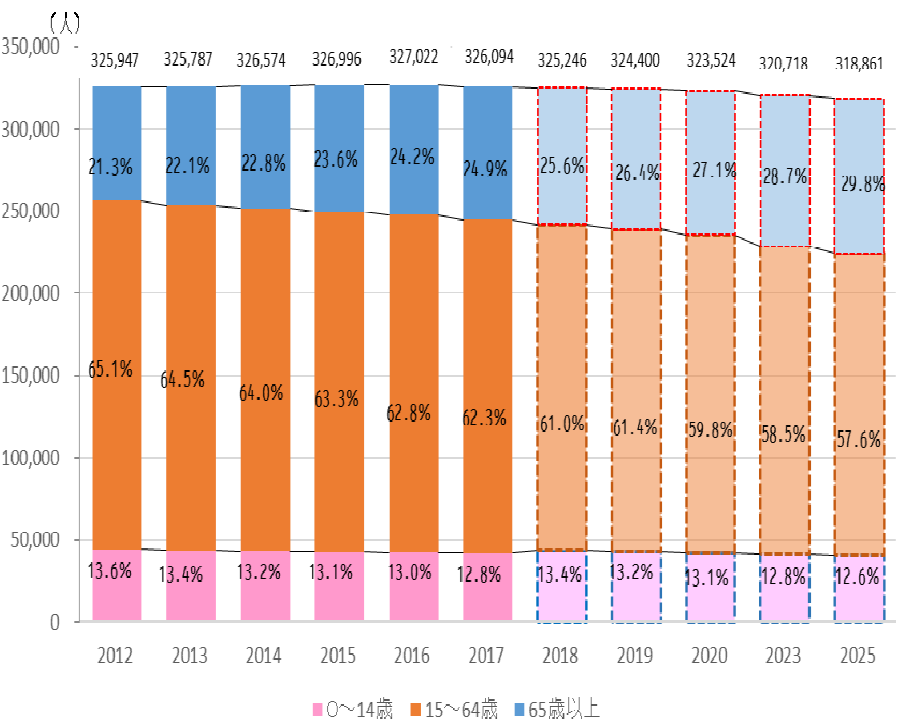


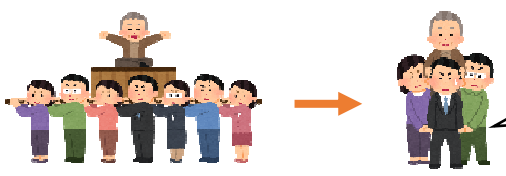
高齢者の現状と2025年までの推計値① ～市民の3人に1人が65歳以上に～

総人口における年齢3区分別人口の推計



出典：郡山市介護保険課（各年10月1日現在）

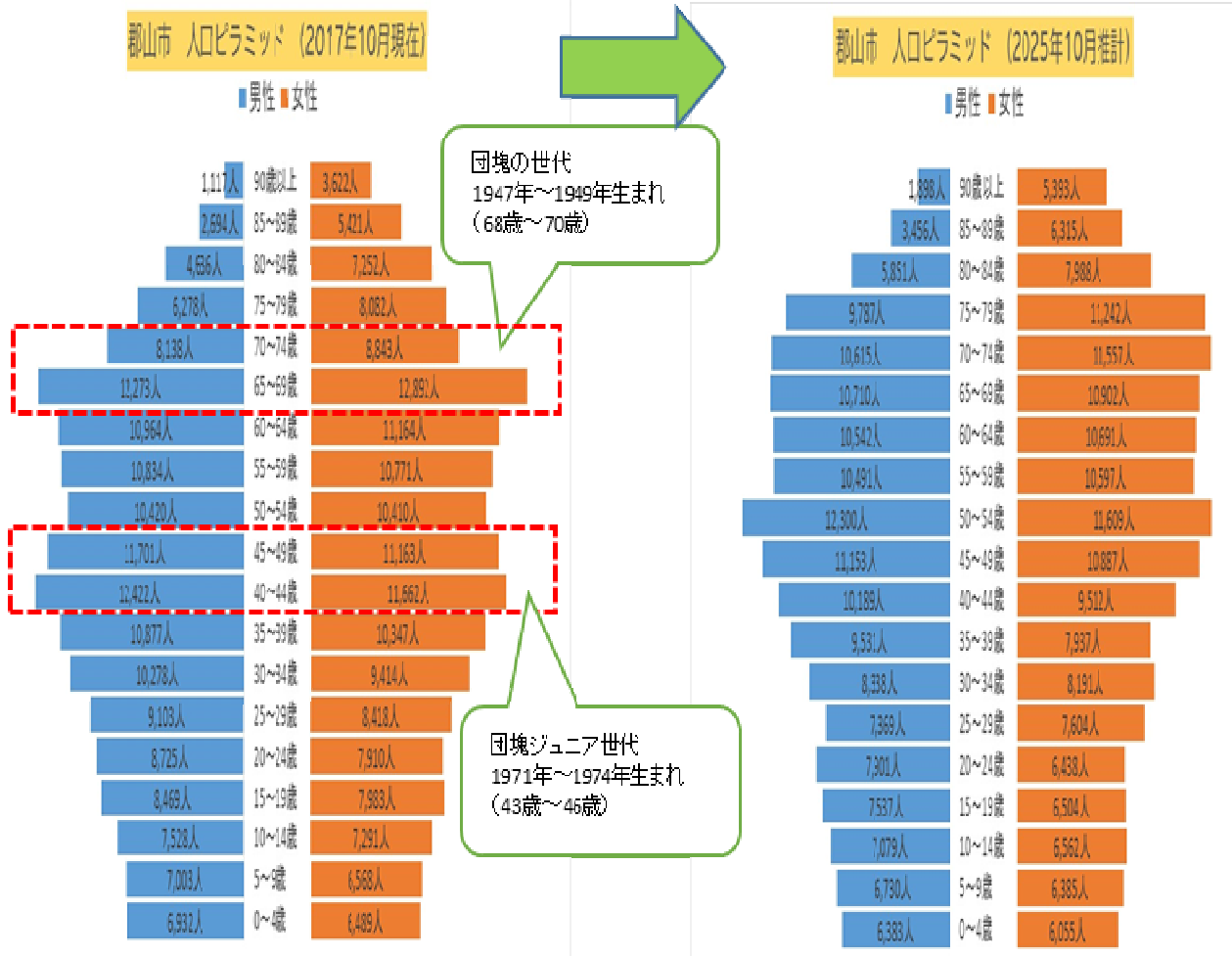
年々、65歳以上の老年人口は増加し、15～64歳の生産年齢人口、0～14歳の年少人口は減少している。



神輿型から騎馬戦型へ

2025年には  
2.7人で1人を支える

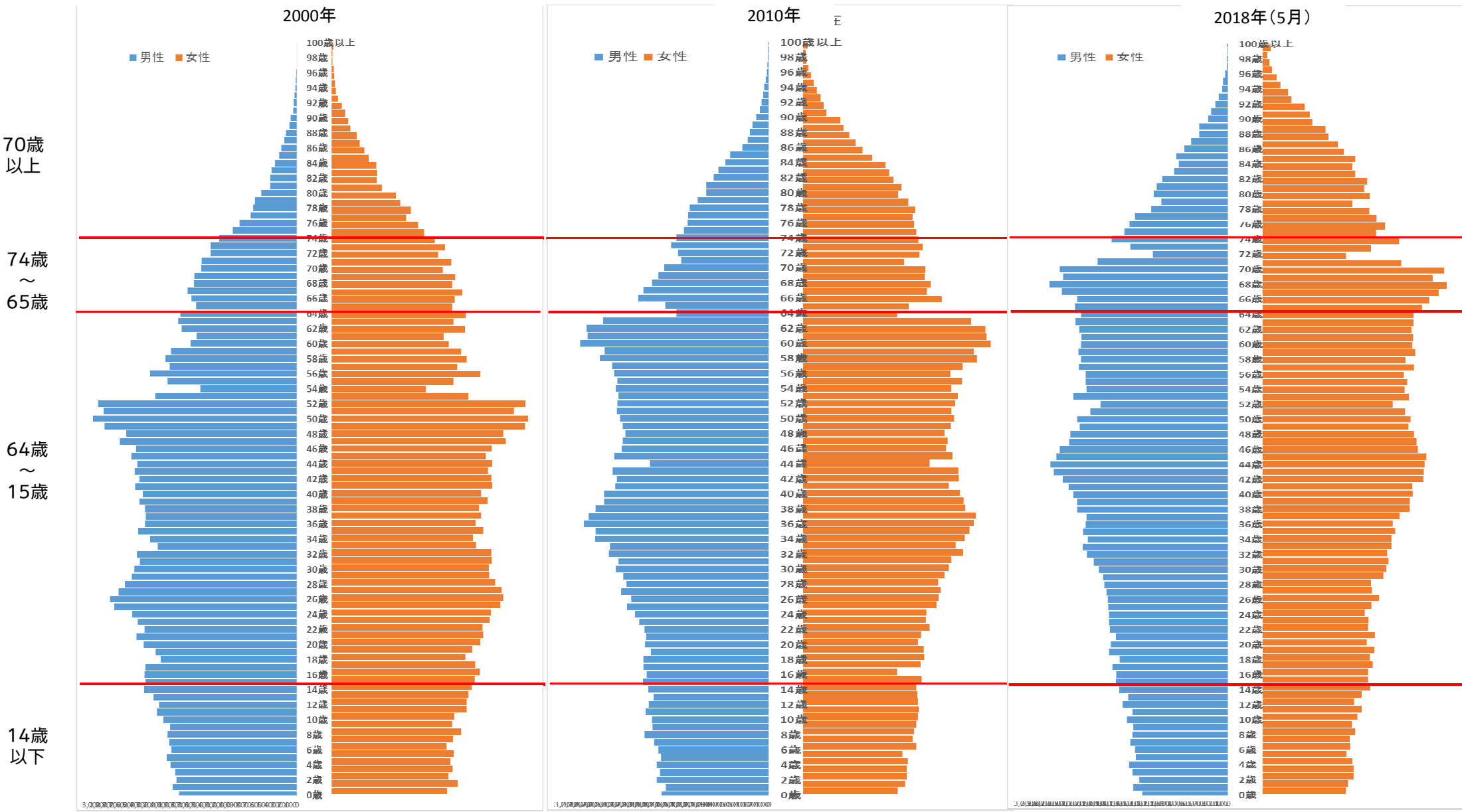
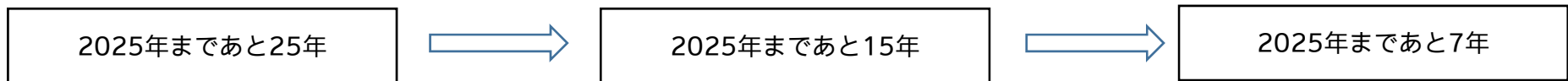
2017年・2025年の人口ピラミッド（10月1日現在）



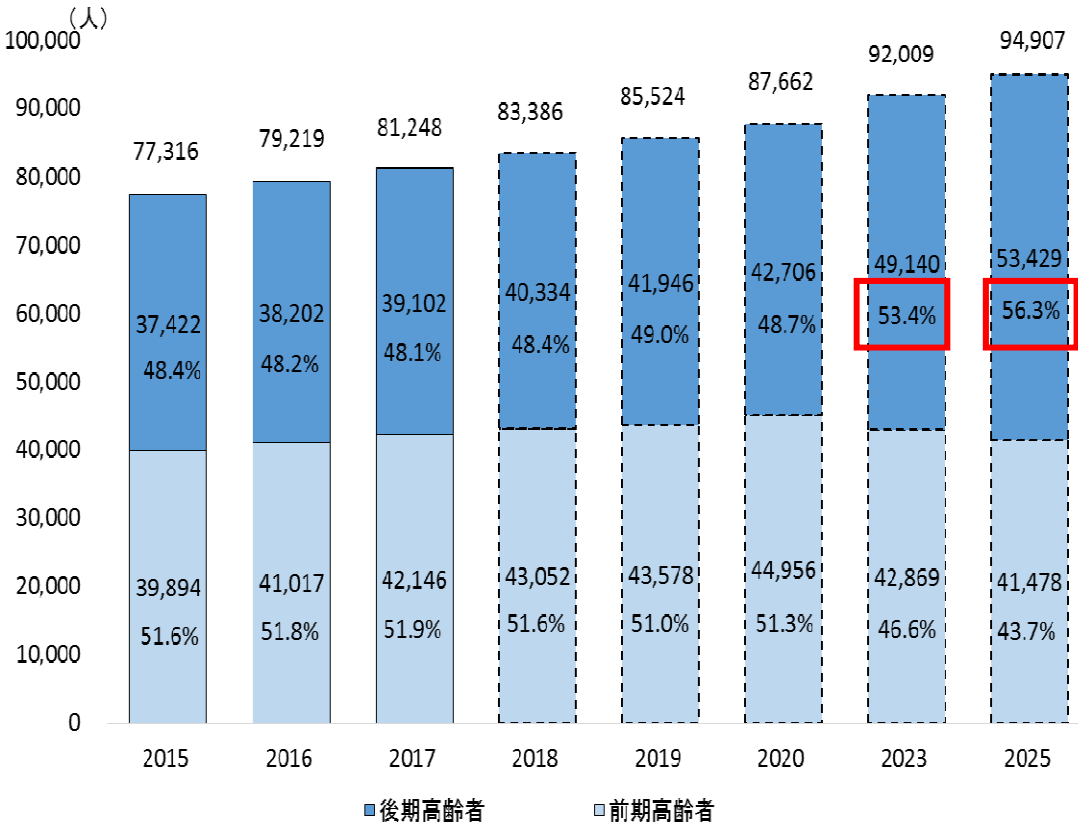
出典：人口ビジョン

2017年は、40～49歳の団塊ジュニア世代と65～69歳の団塊の世代の2か所に人口のピークが見られるが、2025年は、50～54歳にピークが移動し、55～79歳はほぼ同数となっており、釣鐘型がより顕著になっている。

高齢者の現状と2025年までの推計値② ～人口ピラミッドの変遷～

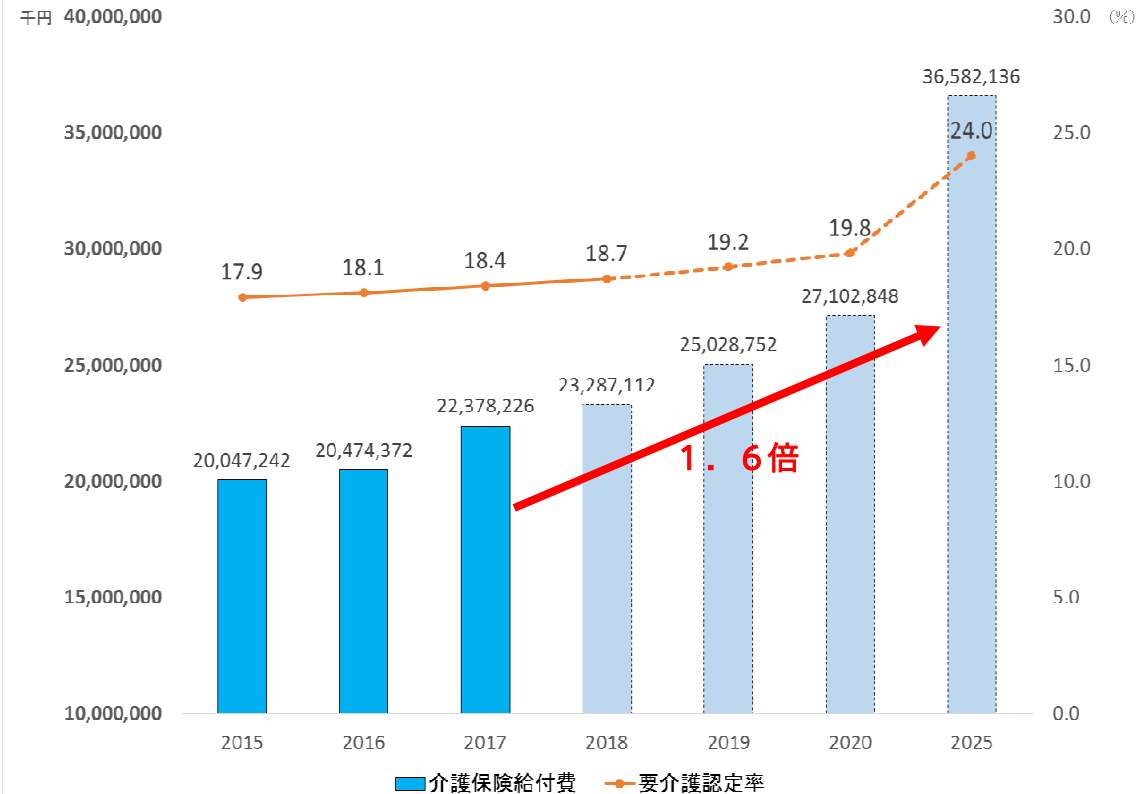


高齢者数内訳



出典：郡山市介護保険課（各年10月1日現在）

介護保険給付費・要介護認定率



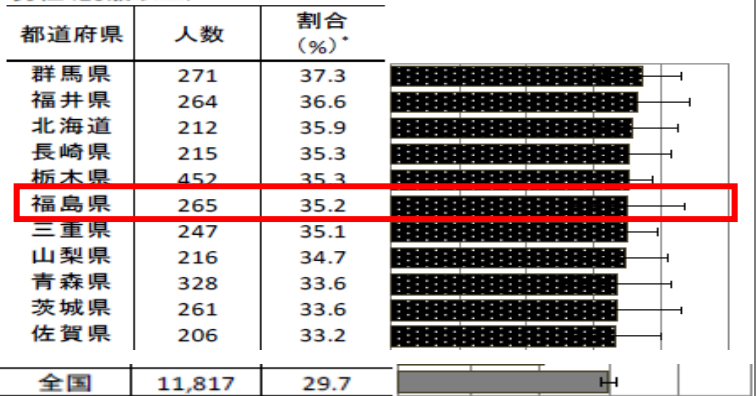
出典：郡山市介護保険課

高齢者数における前期高齢者と後期高齢者の割合は、2017年は、前期高齢者が51.9%、後期高齢者が48.1%だが、2025年には前期高齢者が43.7%、後期高齢者が56.3%となり、比率が逆転する。

要介護認定率は、2017年で18.4%であるが、2025年には24.0%になると推計される。さらに、認定率の増加に伴い介護保険給付費は、2025年は2017年の1.6倍となる。

現在習慣的に喫煙している者の割合

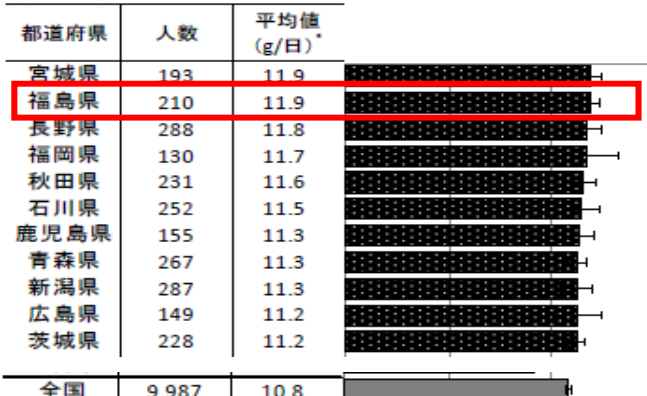
男性(20歳以上)



\*年齢調整した値  
\*小数第2位を四捨五入

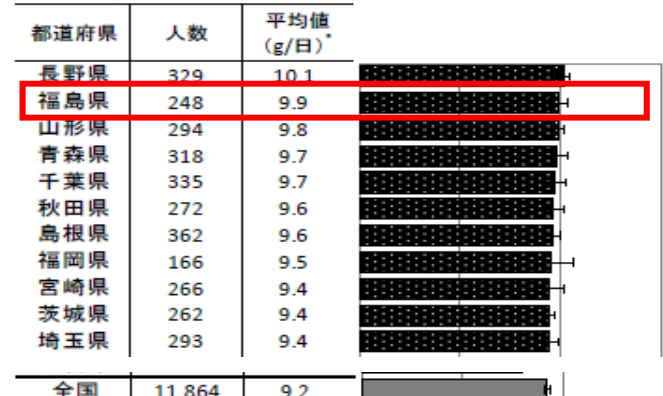
塩分摂取量の平均値

男性(20歳以上)



\*年齢調整した値  
\*小数第2位を四捨五入

女性(20歳以上)



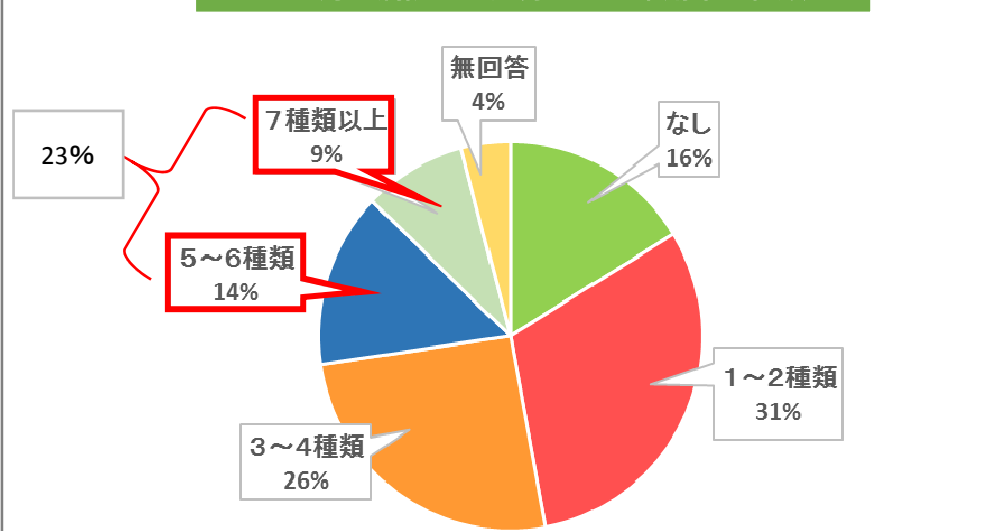
\*年齢調整した値  
\*小数第2位を四捨五入

全国475地区から10人～15人を無作為抽出し平成28年10月～11月に調査

出典：厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査結果の概要」

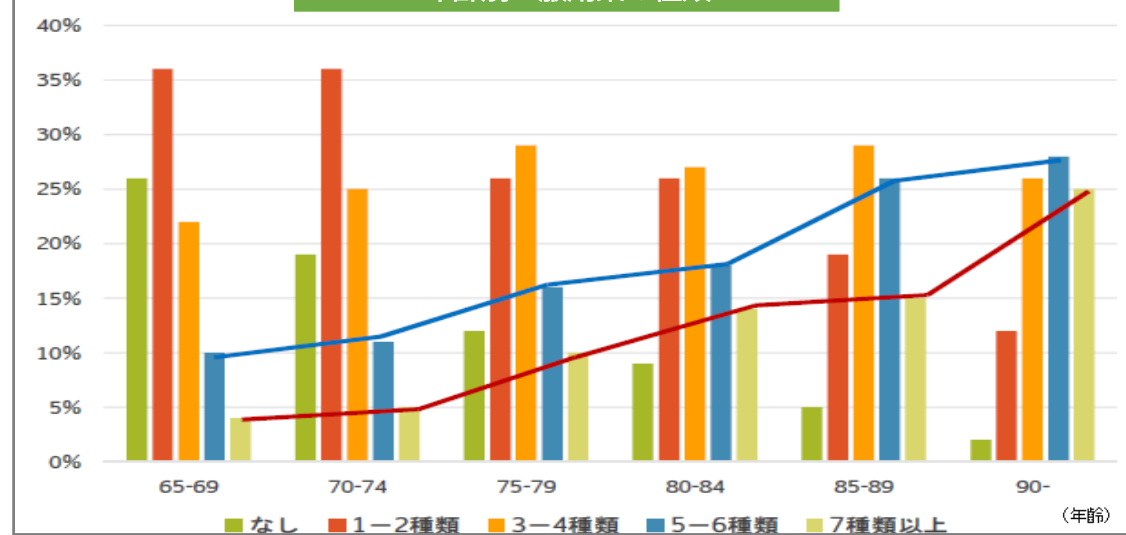
福島県の20歳以上の男性の喫煙率は35.2%で、都道府県ランキングのワースト6位である。  
食塩摂取量は、20歳以上の男性は11.9g、女性は9.9gであり、男女ともに都道府県ランキングのワースト2位である。

1か月に病院から処方された常用薬の種類



団体会員のうち65歳以上の全国5145人を対象に郵送、FAX等により調査

年齢別 服用薬の種類



出典：NPO法人高齢社会をよくする女性の会「高齢者の服薬に関する現状と意識」（2017年9月～10月調査）

1～2種類は31%で一番多いが、5～6種類の14%と7種類以上の9%を併せると23%であり、ほぼ4人に1人が5種類以上の常用薬の服用をしている。

5種類以上の薬を服用している割合は、年代ごとに増加し、85歳以上では、5～6種類の服用者が25%を越え、90歳以上では28%となっている。

健康寿命の  
延伸に  
向けて

◆スマート・ライフ・プロジェクト (2011.2開始)  
「健康寿命をのばしましょう」  
→ 国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく  
毎日が送れることを目標とした国民運動



◆ふくしま【健】民パスポート事業  
(2015.11開始)

→ 健康づくりイベント等へ参加し、  
ポイントを貯めてプレゼントと交換

〈第5回健康寿命をのばそうAWARD  
厚生労働省健康局長自治体部門 優良賞〉受賞

まちづくり基本指針(「2025年問題」関連の主な事業)

- ◎新規 (1) 中小企業持続化プロジェクト (産業観光部)
- 拡充 (7) 介護資格取得支援事業 (政策開発部)  
生活習慣病対策事業 (保健福祉部)
- 継続 (40) 総合都市交通戦略推進事業 (建設交通部)  
税収確保対策事業 (税務部)

第七次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画  
(地域包括ケア計画) (2018年度～2020年度)

- 健康づくりの推進
  - ・健康づくりのための普及啓発
- 生きがい対策の充実
  - ・いきいきデイクラブ ・通いの場
- 相談・支援体制の充実
  - ・地域包括支援センターの機能強化
- 高齢者の生活環境の充実
  - ・やさしい住まいづくり助成
- 自立支援・介護予防・重度化防止の推進
  - ・介護予防普及啓発
- 認知症施策の推進
  - ・初期集中支援チーム
- 在宅医療・介護連携の推進
  - ・在宅医療介護連携相談支援

地域包括ケアシステムの  
深化推進

健康寿命の  
延伸に向けて

各団体の独自事業

- 郡山医師会
  - ・医療介護病院の運営
- 郡山歯科医師会
  - ・口腔ケア
- 郡山薬剤師会
  - ・認知症対応薬局
- 郡山市社会福祉協議会
  - ・住民参加型在宅福祉サービス事業「助っ人隊」
- 郡山市社会福祉事業団
  - ・あさかの学園大学
- 郡山市健康振興財団
  - ・健康づくり教室
- 郡山市地域包括支援センター連絡協議会
  - ・在宅生活の相談・支援

第二次みなぎる健康 生きいきこおりやま21 (2018年度～2022年度)

- 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
  - ・がん検診の受診率向上
  - ・おもいやりノースモーキング事業 (全面禁煙・分煙実施施設認証、COPD知識普及等)
- 生活習慣及び社会環境の改善
  - ・健康的な食生活形成への支援 (減塩教室、食生活改善推進員による塩分濃度測定)

国民健康保険医療費適正化推進事業

- 保険給付の周知啓発
  - ・ジェネリック医薬品差額通知事業
  - ・COPD啓発・予防事業
  - ・糖尿病・糖尿病性腎症重症化予防事業

診療報酬改定

2018年度～

- ・診療報酬本体+0.55%
- ・医療と介護の連携強化

介護報酬改定

2018年度～

- ・介護保険制度の安定性、持続可能性の確保
- ・多様な人材の確保

まちづくり基本指針 <2018年度～スタート！>

みんなの思いや願いを結び、未来（あす）へとつながるまち 郡山

地域包括ケアシステムの深化・推進

医療

- かかりつけ医（病院、診療所、薬局）の増加
- 訪問診療、訪問看護の充実
- 看取り実施医療機関の増加



医師・薬剤師・歯科医師  
柔道整復師・看護師等

在宅医療・介護の連携

- 【新】在宅医療・介護連携支援に関する相談窓口の設置
- 退院調整ルールの運用の充実

介護

- 居宅サービス 通所介護実施数 110 → 122か所（2020年度見込）
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間対応） 整備数 5 → 11か所（2020年度見込）
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 整備数 171 → 229床（2020年度見込）



認知症支援

- 認知症初期集中支援チーム 3チーム（保健・医療・福祉の専門職によるチーム）
- 認知症高齢者SOS見守りネットワーク  
連絡会登録団体数 100 → 120団体（2020年度見込）  
事前登録者数 300 → 550人（2020年度見込）

高齢者



元気な高齢者  
生活支援が必要な方  
医療・介護が必要な方

住まい

- 高齢者の居住安定化確保計画により実施（生活支援、介護支援等がついた高齢者向け賃貸住宅の供給促進等）
- 老人福祉施設整備補助事業



基幹型地域包括支援センター

地域包括支援センター  
【新】2018年度1か所増設  
17か所→18か所



生活支援

- 見守り活動の充実  
民生委員、【新】民生委員協力員、町内会等地域での見守り
- 生活支援体制整備事業  
【拡充】第2層協議体 2018年度 10地区程度設置  
生活支援コーディネーター 3名配置
- 生活習慣病対策（官民連携による推進）

介護予防

- いきいき百歳体操等による通いの場の設置  
通いの場設置数 70 → 130か所（2020年度見込）
- 後期高齢者健康診査事業  
【新】75歳前年度到達者の歯科健診を実施
- 高齢者にやさしい住まいづくり助成事業 転倒予防等の推進



高齢者の社会参加  
・活動の場  
・きっかけ作り

- 高齢者健康長寿サポート事業（はり・きゅう、温泉、バス、タクシーの費用の一部助成）
- あさかの学園大学の開設、高齢者スポーツ大会、高齢者作品展の実施
- いきいきデイクラブの実施



セーフコミュニティ <2018年2月2日認証>

安全・安心なまちをめざして



交通安全

こどもの安全

高齢者の安全

自殺予防

防犯

防災・環境安全

一億総活躍社会

「ニッポン一億総活躍プラン」2016年6月閣議決定  
・GDP600兆円 ・希望出生率1.8 ・介護離職ゼロ

働き方改革

実行計画2017年3月決定  
関連法案2018.5.31衆院通過

- ・子育て、介護等としごとの両立
- ・高齢者の就業促進